

日本語における統辞論の諸問題 (シンポジウム)

第 39 回大会のシンポジウムは、日本語統辞論をテーマに開催する。統辞論の研究は英語を最大の対象言語として発展してきたが、日本語の示す、英語や近縁の諸語とは異なった振る舞いが理論に与える貢献も大きい。そこで、本シンポジウムでは、日本語を対象言語に含む研究を牽引する研究者に講演をいただくとともに、議論の場を設定する、講師およびそれぞれの発表題目は以下の通りである。

- ・ 格助詞による項の導入について—新デイビットソン事象意味論の観点から
嶋村 貢志（金沢星稜大学）
- ・ 日本語の定形コントロール:記述と理論
藤井 友比呂（横浜国立大学）
- ・ 日本語の指定文—その統語構造と意味論的側面—
西垣内 泰介（神戸松蔭大学）